

所弓便

第10号

所沢市弓道連盟会員 253名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

10月31日現在の会員数は253名です。

今年度新たに、初心者教室修了生19名、一般5名、計24名が入会されました。

新たに入会された会員

(10月末現在 入会順)

皆さんよろしくお願ひします。

梶嶋 舞	大丸 優	富士元綾子	田沢梓門
長谷川昌史	島 克司	今井貴美	宮原優子
亀田則明	柏野むつみ	根本敬子	仲よし子
西山芳洋	三橋真理子	齊田益代	飯山泰隆
安立倫生	内山貴啓	岡田成宏	大原千夏
高田まち子	小野塚亜紀	相澤佳代子	加藤雄大

昇段・昇格（平成24年度）

昇段・昇格おめでとうございます。

(11月11日現在)

教士	下田 徹		
錬士	松寄 昇		
六段	増田裕子		
五段	竹下 眸		
四段	鈴木栄子	岩村優子	川端由美子
	竹添鈴葉	中村康代	松本裕子
三段	黒木智哉	安江仁美	関口二郎
二段	甲斐 聡	福田秦平	田沢梓門

初段	(福田秦平)	長谷川泰子	新井忠文
	菅宮珠美	樫原克明	村野治男
	日野義弘	松浦篤子	森下珠美

所 弓 便

5月15日	所弓便	9号発行
10月 6日	所弓便	10号編集開始
11月 7日	所弓便	10号編集会議
11月30日	所弓便	10号発行

市弓道場メンテナンス

5月17日	矢道芝刈り、遠的場除草剤散布
6月 2日	弓倉庫内改装
7月 1日	矢道芝刈り
7月 8日	矢道除草剤散布
7月 2日	床張替え（11日まで）
9月12日	流し台下水修理（自力）
9月21日	玄関鍵交換
9月27日	巻き藁道場危険防止貼紙

所沢市弓道場床40年ぶりの張替え

所沢市弓道場（通称‘神社道場’）は、昭和46（1971）年に完成以来41年の風雪に耐え、所弓連の“故郷”として多くの会員に親しまれてきておりますが、さすがに近年、床の痛みが激しく、釘も飛び出てくるなど安全面でも問題となって来ました。



(張替え直後の床)

ここ数年の間、市当局とも改善の打合せを重ねて参りましたが、この度7月2日から11日にかけて床の張り替え工事が実施されました。

これまでの歴史が刻まれた古い床に、愛着にも似た感慨もありましたが、真新しいきれいな床に気分も新たに行射できる喜びをかみしめて大事に使って参りましょう。

なお、床材は‘ぶな’の無垢フローリングで出来ています。現在の綺麗なベージュの色を保つには、乾いた布での乾拭きで十分ですが、水濡れを放置すると跡がシミになる場合もありますのでメンテナンスには皆さんご協力ください。

武道館弓道場安土整備工事

武道館弓道場の安土を8月25日に整備した。

武道館の記録によると、前回整備工事を行なったのは、平成18年4月との事、実に6年半振りの整備となる。

数週間前より両道場に会員に協力依頼の掲示をしたところ、男子40名、女子18名、計58名の有志が集まり安土改修工事の作業が始まった。

作業の段取りは、砂の入れ替え経験の豊富な会員が軸となり、いくつかの班を作った。シャベルで古い砂を出す班、一輪車で運ぶ班、新しい砂を入れる班、安土を形成する班等それぞれの分担作業を手際よくこなしたお陰で順調に整備が進み、午後2時頃には大体の作業が終了した。



(猛暑の中作業中の会員)

武道館弓道場の構造は、安土整備の際一番大変なのが大量の砂の搬入と搬出であるが、今回の整備については業者がその一番大変な仕事を引き受けてくれたので、我々の作業が大幅に軽減された。

当日は、朝から30度を超える猛暑日、しかも風通しも悪く、真夏の直射日光が容赦なく照りつける矢道の中で、全身滝のような汗を流しながらも快く作業に協力してくれた、有志の会員各位に感謝とお礼を申し上げます。総務部長 甲斐久歳

【指導部】

定期講習会

4月から10月末までの講習会受講者数
橋田教室（毎月第1木曜日、第3土曜日）

受講者延 79名

土曜講習会（毎月第2土曜日）

受講者延 77名

水曜講習会（毎月第4水曜日）

受講者延132名

初心者弓道教室

初心者弓道教室（前期）

期 間 6月2日～6月30日

毎土曜日 午後1時～4時 全5回

修了者数 20名（内19名入会）

四段以下講習

10月6日（武道館）

参加者 29名 講師 永島先生・新家先生

教室修了生対象アフターフォロー

毎週土曜日午後1時15分から4時頃まで教室修了生を主な対象者として指導部員が毎回アフターフォローを実施しています。

【競技部（スポーツ少年団含む）】**《所弓連月例射会》****（5月12日）**（参加 遠的23名 近的47名）

《遠的》

優勝 藤田 良 2位 粕谷吉一 3位 三好啓子

《近的》

（2段以下の部）

優勝 中根幸二 2位 伊藤祐二 3位 関口二郎

（3・4段の部）

優勝 藤田 良 2位 星川三樹男 3位 奥富季乃

（5段以上の部）

優勝 瀬賀邦夫 2位 粕谷吉一 3位 小林康則

（6月 3日）（参加 近的38名）

（2段以下の部）

優勝 関口二郎 2位 伊藤祐二 3位 林 雅茂

（3・4段の部）

優勝 星川三樹男 2位 藤田 良 3位 廣瀬雅孝

（5段以上の部）

優勝 下田 徹 2位 山口正彦 3位 瀬賀邦夫

（7月 8日）（参加 近的48名）

（2段以下の部）

優勝 横山海友 2位 関口二郎 3位 安江仁美

（3・4段の部）

優勝 塩島佳代 2位 小山 等 3位 中村徳海

（5段以上の部）

優勝 粕谷吉一 2位 石川淳子 3位 三好啓子

（7月29日）

進行役の所作講習会 講師 新家会長

参加 27名

（8月19日）（参加 近的50名）

（2段以下の部）

優勝 伊藤 颯 2位 横山海友 3位 関口二郎

（3・4段の部）

優勝 塩島佳代 2位 竹下正博 3位 藤田 良

（5段以上の部）

優勝 粕谷吉一 2位 小林康則 3位 石川淳子

（10月7日）（参加 遠的中止 近的29名）

《近的》

（2段以下の部）

優勝 中根幸二 2位 福田秦平 3位 名雪正義

（3・4段の部）

優勝 藤田 良 2位 小山 等 3位 竹下 眸

（5段以上の部）

優勝 粕谷吉一 2位 小林康則 3位 小山和枝

イラスト付き的収納箱

武道館の安土に10的または12的の的付けをする際には、的の数が多く持ち運びには大変苦労していましたが、この程コンパクトな「的収納箱」が完成しました。

側面イラストは、とんぼスタジオ主宰アニメ監督 龍池 昇さん（三段）、図面作成・制作は森谷義弘さん（三段）が担当しました。

平成の匠、所弓連二人衆の合作です。息のあった現物を是非ご覧ください。

**（美的センス溢れた的収納箱）****《対外射会》****（4月29日）秩父神社奉納 第54回埼玉県下武道（弓道）大会**（参加46名）

（中学生の部）

団体3位

所沢スポ少D 金井雄太 甲斐健太 末廣侑也

団体4位

所沢スポ少A 伊藤 颯 横山海友 西原郁哉

団体5位

所沢市美原中 小塚一平 阿部晃司 林 雅茂

個人4位 横山海友

(一般の部)

団体優勝

所弓連F 石川淳子 増田裕子 松寄恭子

団体2位

所弓連P 下田 徹 澤田靖子 中村徳海

個人優勝 松寄恭子 2位 中村徳海

4位 小林康則 5位 粕谷吉一



(スポーツ少年団の参加者)

(5月)

5日 入間市近隣親善射会 (参加18名)

(団体)

優勝

所沢Bチーム 熊井紀一 鈴木光昭 海老名玄

3位

所沢Aチーム 永田欽一 小林康則 星川三樹男

《個人》

優勝 藤田 良 2位 鈴木光昭 5位 粕谷吉一

8位 小林康則 13位 熊井紀一

22日 ねんりんピック予選大会 (参加10名)

選手に選考 熊井紀一

26日・27日 埼玉県弓道選手権大会等 (県武)

参加 称号者の部10名、有段者の部2名

称号者の部

優勝 粕谷吉一

関東三県及び全日本出場選手2次選考会候補選手

粕谷吉一 新家 透 下田 徹 嶺美智子

(6月)

1日 埼玉県実年者弓道選手権大会 (県武)

個人 優勝 熊井紀一 2位 下田 徹

30日 関東三県及び全日本選手権出場選手二
次選考会

関東三県に 粕谷吉一 選出

(7月)

1日 埼玉県弓道遠的選手権大会 (参加4名)

五段以上男子 3位 粕谷吉一

16日 埼玉県民総合体育大会 (弓道中学の部)
兼第8回全国中学生弓道大会県予選会

団体男子優勝

所沢スポ少B 内海隆太 伊藤大将 栗原大智

個人

優勝 栗原大智 3位 伊藤 颯

21日 全日本少年少女武道錬成大会

所沢スポ少 男子3チーム12名(補欠3名)

女子2チーム 6名参加

(8月)

7日 読売杯・県体予選・寿射会 (武道館)

参加192名 内所弓連47名

読売杯 優勝 三好啓子 2位 下田 徹

寿射会 優勝 下田 徹 3位 熊井紀一

県体予選通過チーム

4・5段 藤田 良 小林康則 星川三樹男

女子の部①山本絵美 奥富季乃 三好啓子
 ②下田由美子 目黒千恵子 小山和枝
 称 号①住田眞美枝 平山夏子 下田 徹
 ②石川淳子 増田裕子 松寄恭子

♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

玄関の鍵を新しく丈夫な物に取り替えました。番号と使用方法は、前の鍵と同じです。従来鍵より番号合わせが、少し扱いにくい点がありますが、開錠、施錠がスムーズになりました。夜間にはボタン・オンで10～15秒位ランプが点灯します。

追伸

最近道場の物品、つまり公共物の取り扱いが雑で破損、使用不能、所在不明等多々見受けられます。

公共のもので、皆さんの私物同様大切に扱いましょう！！

Mis & Mr. K a T a B a M i

(9月)

2日 埼玉県勤労者弓道選手権大会 (県武)

参加所弓連27名

個人 9位 三好啓子 10位 粕谷吉一

8日 西部支部選手権大会 兼 県武道大会選手選考会 (武道館)

参加164名 内所弓連46名 スポ少17名

団体戦優勝 三好啓子 奥富季乃 下田 徹

個人戦2位 下田 徹

(県武道大会出場選手)

一般男子 下田 徹

一般女子 石川淳子 澤田靖子

17日 第38回市民弓道大会 (武道館)

参加140名

《学生》

(小・中学生の部)

優勝 横山海友 2位 吉田万里映 3位 内海隆太
(高校初級の部)

優勝 坪 綺華 2位 中島健太郎 3位 青木拓磨
(高校上級の部)

優勝 有賀壮汰 2位 鈴木波流 3位 前野仁美



(小・中学生の部の行射)

《一般》

(2段以下の部)

優勝 梶嶋 舞 2位 宮川八潮 3位 伊藤祐二
(3・4段の部)

優勝 吉田明子 2位 土井政明 3位 川端由美子
(5段以上の部)

優勝 鈴木光昭 2位 石川淳子 3位 三好啓子
《総合優勝》

(学生の部) 坪 綺華

(一般の部) 吉田明子

23日 第25回県民総合体育大会 (県武)

(女子の部)

遠的団体優勝 山本絵美 奥富季乃 三好啓子

(称号者の部)

遠的団体3位 石川淳子 増田裕子 松寄恭子

近的個人3位 平山夏子

10月 7日 ところざわ祭り参加

(10月)

13日 秩父スポ少交流大会

(秩父市営第一弓道場)

参加13名(男子10名、女子3名)

中学生男子の部

3位 林 雅茂 4位 栗原大智 5位 伊藤大将

6位 末廣侑也 8位 伊藤 颯

特別賞 渡邊涼介

小学6年生でありながら中学生男子の部で2中し
4～8位決定戦に出場した功を賞する。



(ハッピーもよく似合ってる)

21日 第36回埼弓連女子部弓道大会 (県武)

参加15名

三段以下の部 5位 塩島佳代

28日 平成24年度西部・中部支部親善射会

(日高市文化体育館弓道場)

参加 中部80名 西部76名 所弓連28名
近的个人

2位 小山 等 4位 住田真美枝 9位 粕谷吉一

14位 下田由美子 19位 中村徳海

(11月)

11日 第53回所沢市青少年三道大会

(武道館)

小中学生16名、高校生46名、合計62名

会員手伝30名

【スポーツ少年団】

(*スポーツ少年団の各種射会記録は、競技部に前掲しています。)

5月26日 スポ少初心者弓道教室

小学6年生 3名 小学5年生 4名 参加

∞ 投 稿 ∞

範士八段 橋田榮次先生 白寿記念祝賀射会

平成24年6月17日、範士八段橋田榮次先生の白寿をお祝いして、所沢市民武道館において祝賀射会が開催されました。

橋田先生は、大正2(1913)年のお生まれで、5月4日にめでたく満99歳のお誕生日を迎えられました。4月22日には埼玉県弓道連盟より白寿の長寿表彰を受けられましたが、県下で白寿の表彰は2人目、ご自身が式に出席され表彰を受けられるのは初めてとのことで、全国でもまれなことと思われまます。表彰式後、米寿、傘寿を含めた長寿表彰者28名を代表して、「私は弓を引いているので長生き出来ました。弓道は丹田呼吸により内臓から身体を鍛えることが出来ます。ただ生命だけ永らえても仕方ありません。私は今でも毎日武道館に通っております。元気で楽しく長生きするよう、皆さんも頑張ってください。」とご挨拶され、満場の拍手を受けられました。

祝賀射会には、所沢市弓道連盟会員ほか総勢70名が参集。新家会長の矢渡に続き、参加者が橋田先生に対し一礼し、祝射を奉じました。全員の祝射に続き、橋田先生が答射礼をみごとに演じられました。



(参加者に挨拶する橋田先生)

花束贈呈ののち、橋田先生のご挨拶の中で、この日先生より寄贈された真新しい幕に染め抜かれた「看箭」という文字について、これは「矢をよく看る」ということで、師匠の神永範士がよく話されていた言葉です、とのお話が披露されました。

最後に草賀前会長より、先生のお元氣な答射礼に涙が出ました。先生にはこれからも弓道界において実際に弓が引ける長寿の記録を更新して頂き、我々後進の励みにして頂きたい、との閉会のことばののち、全員で記念撮影。その後会食の席で先生のご経験談などのお話があり、和やかなお祝いムード一杯の内にお開きとなりました。

橋田先生は、現在も毎日武道館に通われ、月2回の橋田教室以外の日でも皆を指導されるとともに、ご自身でも弓を引いておられますが、昭和40年頃から肩を壊され、またさすがに近年加齢とともに手指の関節が自由に動かなくなるなど、普通に弓を引けるような状態ではなくなりました。それでも弓に対する愛着と情熱は寸毫も衰えることなく、これなら何とか引けると、躰師でもある先生はご自分で左手用の躰を作り、弓を持つ手を右手に変えて行射されています。

右手に弓を持つということは、上座に対し背を向けることになり、通常からすれば失礼に当たること

は、先生ご自身も重々承知されての上ですが、歳をとっても、身体は不自由でも弓は引けるということをもつて示しておられます。そこまで弓を愛し、引ける限りは弓を捨てないというその情熱、そしてご自身ではまだ伸びが足りないと言われますが、そのみごとに一文字の残身は、拝見して心被打たれます。

江上清先生の著書「弓道師弟問答」の中に、本多利実先生の高弟大平善三先生は、晩年満足な会に入れず、枚方（ヒラカタ）の船頭とあだ名されながらも、努力して、よいしょよいしょと体は前後にゆれて、さらに深く入れようと努力された、その意欲、もう一つ入れよう、もう一つ、もう一つ、という努力が尊い、という話が載っておりますが、同様の感慨をほうふつとさせます。

先生にはこれからもいつまでもお元氣で弓を引き、またご指導頂きたいと思います。

(弓道誌8月号掲載文増補 飯島稔凱)

教士昇格に寄せて

下田 徹

七月の山形での審査で教士に合格させて頂きました。

受審するきっかけとなったのは、練習での仲間の声でした。「先生、自分が審査を受けないでみんなに受審を勧めるのって説得力無いよね」と。

おっしゃる通り。で、思い切って受審する事にしたのです。

しかし、教士合格を目指すにはそれなりの資質を身に付けていなければなりません。

私の射で教士受審に通用しそうなのは中りだけ。それ以外は全くの自己流です。

そこで、教士審査で評価される射を身に付けようと思い、以前何度かご指導を頂いた事のある熊谷の松澤範士の門を叩いた次第です。

3月に所沢での松澤先生の講習会の折、先生に「教士を受審していいですか？」とお聞きしたところ、いつもの笑顔で「顔見せに行ってみよう」と許可

が出ました。

7月の山形の審査を受審する事に決め、これに照準を合わせて目標を立てました。

それは、練習時の先生からの注意事項を射の運行順にチェックシートにまとめ、毎日の行射で自己評価をして身に付ける事です。「上手く出来た○」、「実行した△」（射を直すのが目的ですからまず実行する事が大事。うまく行かなくても実行していれば△）「やらなかった×」をチェック、繰り返し練習をしました。

こうして臨んだ審査当日は緊張する事も無く「松澤先生から教わった通りやる」事だけに集中出来ました。

入場！。第1歩を踏み出して、上席審査委員席の方に体を向けたら上席審査委員の「魚住範士」が真正面に見えました。心の中で「よしOK!」。続いて一つ一つの動作を全てチェックしました。息合いよし！、目使いよし！、と云った具合です。

射でも打起しから大三の見せ場作りOK。会も5～6秒は充分持ったと思います。皆中。弓倒しを入念にし、退場まで思い描いていた通りに出来ました。

2次審査、一つの射礼は冷静に対応出来たと思います。

こんな具合で何とか教士に合格はしましたが、まだまだ未熟者で真の弓引きには遠く及びもありません。

会員の皆様方のお力添えを頂きながら、日々の向上心を忘れず、更なる上を目指して頑張っていきたいと思っています。

ご指導の程よろしくお願い致します。

励まされて四段合格

土井恵美子

2012年2月、県立武道館にて四段を認許されました。昨年末に申し込み、そこから審査まで練習時間が少なくとても不安でした。安定した中りは無く練習中も4射1中、2中が続き、矢数がふえると矢尺が取れなくなり矢が飛ばなくなります。

そこで先生方のご指導をいただき打ち起しから大

三の馬手の腕のハリ。そのハリを保ったまま引き分けから会へと続く動作を修正しました。練習の時は常に馬手の腕のハリを意識して形を覚えるようにし、なんとか矢飛びは良くなりました。

審査の前日、神社道場での土曜講習会に参加させていただきました。その練習の最後と思って引いた一本。とても良い感じに引くことができたのも中り「よし!」と思えました。その場に居合わせた先生や先輩方からも「明日も今の射の様に自信をもってやりなさい。」と励ましの言葉を頂きました。

そして当日、審査の席には女性の先生が2人いらしたので、たすき掛けで失をしないようにととても緊張しました。なんとか失無く済ませて射位へ進み甲矢。昨日の最後の射をめざし足踏み、胴作り……。緊張からか呼吸が整わず、会に入って何とか修めて離れ×。また中らずに終わってしまうと一瞬頭の中をよぎりましたが、まだ1本ある。と思い直し跪座で待ちの間に呼吸を整え次に備えました。

昨日先生に言われた「自信をもってやりなさい。」の言葉を思い出し、集中し乙矢。呼吸も乱れず修まった感じでそのまま離れ。的中。四段審査で初めての中りでした。

やっと審査してもらえると思い合格発表までドキドキしなから待ち合格発表が貼り出され、名前の横に「合」がありました。

先生方、先輩方のご指導と励ましをいただき合格することができたとても感謝しております。今後も教わったことを忘れず、ご指導いただき次に向けて練習していきたいと思っています。

四段に合格

鈴木栄子

6月の大宮の審査にて、やっと四段に合格することができました。

今まで何回受けても、審査になると矢が、とんでもない所へ行ってしまう、どうしてかなと反省してみました。結局、緊張の余り、りきんでしまい、乙矢が特にひどく、甲矢がはずれると「どうしよう、

乙矢だけでもなんとかがんばらなければ」と思うと、ますます緊張し体がカチカチにかたくなり、自由に動かなくなってしまうのが、原因ではないかと思いました。

それで今回は、あたらなくてもいいから、とにかく、りきまないで楽に伸び伸びと引いてこようと、それだけを目指に出かけて行きました。そして本番で、甲矢が的の近くにいったので「いい所へいったから、これでいい、これでいい」と思いながら乙矢を引きはじめました。今回は珍しく、緊張しないで、腕が自由によく伸びたような気がしました。会もできるだけ、長くもちました。そしたら、バーンと大きな音をたててあたりました。

やっと合格することができました。子供の頃から、運動神経の鈍い、こんな私が四段に合格することができたのも、ひとえに橋田先生をはじめ、多くの先生方、先輩方の辛抱強いご指導と、弓友の皆様の励ましのおかげと、心より感謝申し上げます。どうぞこれからも宜しく願い申し上げます。

四段の壁

岩村優子

今年の6月、私はようやく四段に合格することができました。気がつくやうと、三段になって数年が経っていました。こんなにかかった原因は、けがや介護など家の事情で思うように練習ができなかったことに加え、困難にぶつかっても正面から向き合わず、つい先延ばしにしてしまう私の性格にあったと思います。そのため、手の内や的中不確実、体のぐらつきなど問題が山積しているのに、それらをいつまでも克服できずにいました。しかし、審査に何度も落ちて後がなくなり、覚悟を決めざるを得なくなって、ようやく課題に取り組む気持ちになりました。でも、ひとつとして簡単なものはないですから、努力しても成果はなかなか出ません。一番苦しかったのは、一年くらい前のことです。

私の人生のモットーは「最小の労力で最大の成果」ですが、その頃の私はそんな姿勢もかなぐり捨て、

対極の「愚直の権化」となって悪戦苦闘していました。なのに、いつまでたっても目立った進歩が見えません。このやり方で本当にいいのかと思うと、不安とあせりがたぎり立ち、何をどうしたらよいかわからなくなってしまいました。そんな窮状を見兼ねて、今思っても本当にありがたいことですが、先生を始めいろいろな方々が、温かな救いの手を差し延べてくださいました。思い出しても涙が出るようなことが何度もありました。先生に問題点を整理していただき、それに応じた練習を続けるうちに、精神的に楽になることができ、プレッシャーでつぶされそうな状態から、抜け出すことができたのです。最大の課題だった的中も少しずつ増え、そして今年、大宮の審査で何とか合格することができました。

今の目標は、的中を確実にすることです。10射皆中なんてできたら、もう最高！卒倒しちゃうかも。頑張りますので、これからもよろしく願い申し上げます。

三段への道のり

甲斐 聡

初段に合格してから、なかなか上達しない日々が続いていたので三段への昇段を目指すことにより、上達への糸口を見つけたいと思い三段審査を申込みました。

それからは稽古の日数を増やし、先生方に見てもらいながら昇段を目指していましたが、器用に的中してしまうものの、色々な悪い癖はなかなか治らず審査が近づくとつれ気もちも焦り、更に射がバラバラになってしまい上達の糸口どころか逆に何をしたらいいのか分からなくなってしまいました。

先生から前日に言われた、「余計な事は何も考えないで思いっきり審査に臨んで来れば良い結果になる」・・・との言葉だけが頼りでした。

午前の術科では入場で大前の人が入場を間違えたり、私の前の人体が配慮を間違えていたり、随分と惑わされ気持ちを乱されましたが、練習してきた事を信じて思いっきり自分が今できる弓を精一杯引く事

（的中はしませんでした）ができました。

午後の学科は術科とは違い勉強していたことが的中し、ほぼ満点に近い回答ができました。

結果が発表され自分の合格を確認したとき、嬉しかったのは勿論ですが、逆に式段に恥じない射をしないといけないと気持ちが引き締まる思いでした。

ご指導していただきました先生方に、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

初段の道のりは遠かった

新井忠文

昨年7月の初心者弓道教室を終了し、4ヶ月後の熊谷運動公園で初段の審査を初めて受けた。

早く初段を取りたい気持ちだけが優先し、弓道で大切な体配をおろそかにし練習が足りなかったため、結果はおのずと不合格になってしまった。

初段の審査は、矢が的に中らなくても体配がきちんと出来れば合格の可能性が高いと言われていたので、体配の練習に多くの時間を費やした。

審査の数週間前に、日高市文化体育館の弓道場へ初心者弓道教室の仲間を誘って、外部利用者として練習に訪れた。2時間の練習の成果は、矢が的手前で失速して的中皆無、安土にも中らず先が思いやられた。

審査の当日は、5月晴れの好天気恵まれ、審査委員長挨拶で、「皆さん、本日の審査は全員合格して下さい。」と励ましの言葉があって、自分も合格できると気が楽になった。

審査は4人立ちの3立ち目で、甲矢は的の右にそれて、乙矢は会が長くなり離れの瞬間に不安がよぎった。矢は真直ぐ飛んで的の左の安土に着地し、ほっとした。

午後4時前に結果の発表があった、自分の受験番号と合格の‘合’が間違いないか何度も確認し、胸をなでおろした。

審査の結果を報告したある先生から、「ここまでこれたから、2段、3段を目指して続けて頑張りなさい。」と励まされて、初段の合格を実感し、今後も

弓道の精神にのっとり自己の研磨に励みたいと思っています。

今回合格できたのは、武道館、神社道場でご指導いただいた諸先生方のおかげと感謝致しております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

初段審査感想

福田泰平

この度、私は五月六日の審査で初段に合格することができました。

当日、会場に着くと周りは知らない人ばかりで心細くなりましたが、会場内には道場の先生方が居らしたのでとても安心しました。

しかし、審査を受ける自分が見られると思うと本番前なのにとても緊張しました。もちろん本番が一番緊張しました、審査当日は一日を通して生きている心地がしませんでした。

自分は午前中は実技、午後に筆記の試験を受けました。実技で入場してみると頭の中が真っ白になりました。自分の番になり、いつも通りに引けば大丈夫だと自分に言い聞かせてみましたが、右足だけが震え、早く終わって欲しいと思いました。

実技が終わり午後の筆記では、試験の時間が一時間だと書いてあり正直長いと思いましたが、実際試験を受けてみると「時間が足りないかも知れない」と思いました。さらに周りの人がどんどん退室していくのを見ると焦ってしまい、ただでさえ汚い字がさらに汚く、間違いも多くなり学校の定期考査以上に焦り緊張しました。

全ての試験を終えて結果発表の時には、高校受験の発表の様な雰囲気でした。結果を見たら安心して体中の力が抜けました。

今、審査の時の事を思い返すと、自分の駄目な所ばかり思い出してしまいます。初段の審査でこんなに緊張していたら、この先がとても不安になります。なのでこんな性格を直しながら次の審査に向けて一生懸命稽古をしていきたいとおもいます。

継ぎ矢

小山 等

奇跡は2012年4月20日午後4時20分に熊野神社道場の4的で起きた！

1射目は12時方向の的の近くに外し、2射目は12時方向の白的に的中し、3射目も6時方向の白的に的中し、そして4射目にその奇跡が起きた。4射目の矢が2射目の矢筈の真ん中に的中して継ぎ矢になった。その時道場にいた先生、先輩の方々と的前に行き確認すると2射目のジュラ矢筈がバナナの皮をむくように引き裂かれ、先端はゼンマイのように巻かれた状態で、完全に二本の矢が継がれ1本矢に成り、取れない～みんなでの前に集まり「継ぎ矢は初めて見た、奇跡だ」と口々に言った、この一枚の写真は携帯で同僚に写して頂いた写真です。先生に言われて継ぎ矢は熊野神社道場の神棚に約二週間飾りました。



(継ぎ矢の前の小山さん)

∞ お知らせ ∞

両道場大掃除日の変更について

来る12月16日は大掃除を予定しておりましたが、衆議院の解散により16日が投票日になり所沢市弓道場が使用できません。

従いまして武道館弓道場及び市弓道場共に大掃除日は**12月22日（土）13時**からに変更いたします。（総務部長）

入会申込書受付の際の注意について

最近新入会員の受付の際に、入会申込書の受付者欄が無記入（印鑑の場合は押印無し）のため受付者不明、新入会員本人の押印無しのため本人の入会意思不確認などの事例が見受けられます。

受付者は、これらを点検し受け付けた時点で総務に必ず連絡をお願いいたします。（総務部長）

審査申込書の書式変更について

審査申込書の書式が24年11月の審査分から変更になっていますので、充分注意して記入してください。

以下に最近の記載ミス例を示します。

- ① 「無指定」文字の削除が未済のままになっています。必ず「~~無指定~~」の様に二本線で消してください。
- ② ID番号の間違い（これは致命傷になりかねません）。
- ③ 現段位の取得年月日及び取得した審査会場名等の間違い。

尚、提出前に再々度記入例を見て確認願います。少しでも不明な点がありましたら審査担当まで必ず事前に相談してください。（審査担当）

∞ 今後の行事予定 ∞

- | | | | |
|-----|-----|-------------|-----------------------|
| 12月 | 9日 | 納射会 | 武道館 |
| 12月 | 22日 | 大掃除 | 市弓道場・武道館 |
| 1月 | 1日 | 新年百射会 | 市弓道場 |
| 1月 | 5日 | 寒稽古 | 1月9日まで5日間
市弓道場・武道館 |
| 1月 | 13日 | 初射会、懇親会 | 市弓道場外 |
| 1月 | 19日 | 第2回四段以下講習会 | 武道館 |
| 1月 | 27日 | 理事会 | 武道館 |
| 2月 | 3日 | 第18回武道祭 | |
| 2月 | 28日 | 所弓便11号発行 | |
| 3月 | 10日 | 月例射会（遠的、近的） | 市弓道場 |
| 3月 | 24日 | 指導者講習会 | 武道館 |

∞ 会長月誌 ∞

4月10日

- ・スポーツ振興課新旧課長 表敬訪問
(理事長、海老名会計同行)

4月12日

- ・熊野神社春期例大祭 飯島理事長参加

4月18日

- ・体育協会役員会出席

4月22日

- ・県連評議員会出席
- ・長寿表彰式（前掲）

5月19日

- ・県連第1回理事会出席

①平成24年度の事業方針

会員増加

青少年育成

技能向上

②全弓連運営推進委員会が新設

埼玉県から内河総務委員長が参加10月末
にまとめ

③審査委員会の副委員長4名に増員

海老名先生が副委員長に就任

④審査申込書の書き方下記例でも可

弓歴欄記入例

「現在道場の先輩諸先生方に師事している。」

5月31日

- ・体育協会理事会出席
評議員会資料の検討

6月9日

- ・体育協会評議員会出席（草賀監事、新家幹事
飯島評議員、甲斐評議員）
23年度報告、24年度計画

7月2日

- ・市弓道場床張り替え工事開始立会（新家、飯島星
川、藤田(良)）
- ・体育協会競技団体部会に出席
太極拳連盟の体協加盟是非の具申意見まとめ

7月10日

- ・市弓道場床張り替え工事完成検査立会

7月12日

- ・第23回所沢シティマラソン大会第1回実行委員
会

7月14日

- ・八雲神社（熊野神社摂社）例祭に参列

7月24日

- ・所沢市体育協会理事会に出席
新規加盟申請団体（太極拳連盟）について
来年度の評議員会に受理の方向で議題提出

8月4日

- ・埼弓連総務委員会に出席

会員増加に対する取組み：中部支部の実態説明

8月24日

- ・所沢市体育協会理事会に出席
陸上選手権大会に付いて
シティマラソン大会に付いて
体協だより・ホームページに付いて

9月1日

- ・関東地域弓道選抜選手権大会役員打合

9月6日

- ・所沢シティマラソン大会実行委員会に出席
大会要項、業務内容と係分担、予算について

9月14日

- ・関東地域弓道選抜選手権大会本部記録委員打合

9月29日

- ・関東地域弓道選抜選手権大会前日準備

9月30日

- ・関東地域弓道選抜選手権大会本部記録委員
粕谷教士六段が選手として参加

10月9日

- ・熊野神社秋の例祭に参列

10月13日

- ・24年度第3回県連総務委員会に出席
業務堤要の作成について他

10月14日

- ・体育協会主催第13回所沢市陸上選手権大会の駐
車場係を小山等さんと担当

10月20日

- ・ 県連臨時理事会に出席
25年5月の予定（所沢市武道館）
高校審査：25年5月 6日
県連講習：25年5月19日

10月27日

- ・ 第18回武道祭実行委員会（同行上橋・石川競技部正副部長）
行事内容、役割分担他について

∞ 編集後記 ∞

こ半年程を振り返るとロンドンオリンピック開催、山中教授ノーベル賞受賞また吉田選手の13連覇達成など極楽から来る涼風のようなニュースが今夏の猛暑の中を吹き抜け、一息も二息もつくことが出来ました。

所弓連にとってのこの半年の会員による朗報は、橋田榮次先生白寿記念祝賀射会を6月17日開催できたことと共に、下田徹先生が7月6日の【仙台】定期中央審査（代替地開催）で「教士」に昇格されたことをあげたいと思います。

ご承知の通り教士の資格は、全日本弓道連盟審査規程第四条第1項に「人格、技能、識見、共に備わり、弓道指導に必要な学識、教養及び実力を有し、且つ功績顕著なること」と厳格に規定され、具備しなければならない資格の数は錬士のそれを遥かに凌いでいます。

とても凡人が達しえる境地ではありませんが、更に前掲した下田先生の投稿文の中で「私の射で教士受審に通用しそうなのは中りだけ。それ以外は全くの自己流です。」の一節は、何が長所で何が足りないのか全く見えてこない私にとっては百年河清を俟つような気持ちで拝読させていただきました。

あと師走を残すのみとなった平成24年ですが、橋田榮次先生の白寿記念祝賀射会と下田徹先生の教士昇格捷報によって所弓連としては十分に満ち足りた年になりそうです。両先生改めておめでとう御座います、そして有り難うございました。

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 甲斐久歳
小林康則 山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便第10号

発行日 平成23年11月30日

発行者 所沢市弓道連盟

会長 新家 透